

走行データで 快適なまちづくり!

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社では、自動車保険の車載器の技術や、新しい情報技術を活用した社会貢献に取り組んでいることを学びました。補償だけではない、地域に密着した保険会社の姿とは一体どのようなものなのでしょうか。

質問1. 名古屋市と連携してどんなプロジェクトを実行していますか?

主な取り組みとして、国内で初めて「孤立死等に係る家主費用負担を軽減する自治体向け保険の提供」を開始しました。単身高齢者が増え、孤立死が増加しています。孤立死のリスクは、住宅を貸す大家にとって大きなもの。それゆえ、部屋を借りられずに困る高齢者が少なくありません。当社は、大家の費用負担を軽くする保険を設け、単身高齢者が暮らしやすい環境をつくっています。この他、交通量が多い名古屋市では、安全運転のサポートも重要なテーマです。当社は、自動車の運行データを車載器で集め、活用する「交通安全EBPM支援サービス」にも力を入れています。



質問2. 市との連携を通してどんな姿を目指していますか?

包括連携協定によって地域におけるネットワークを広げることが目標です。「できることから始める」をモットーに、干潟の清掃などのボランティア活動、募金、セミナーなど、まちの人と直に接するようにも努めています。名古屋市と市民のニーズを把握した上で、寄り添った支援やサービスも提供したいです。



質問3. 地域と関わる上で役立っている自社の強みはなんですか?

事故・災害による被害を未然に防ぎ、事故が発生した場合も回復を支援できる自動車保険会社の事業を強みとして、自動車保険の車載器からデータを集めています。デジタル技術や自動車の走行データを使い、事故が起きやすい場所などを把握し、行政機関とともに施策を立てるなど地域や社会とともに課題を解決しています。

社



取材の感想...

損害保険事業は、交通事故や火事への保険を提供するものだと考えていました。しかし、あいおいニッセイ同和損保は、ボランティアなどを通してまちの人と直接関わることで地域のニーズを発見し、新たな支援を考えて提供しています。お話を聞いて、地域への貢献度が大変高い企業だと感じました。これからも地域とのネットワークをますます拡大してほしいです。



社



社



社

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

MS&ADインシュアランスグループの一員としてグローバルに事業展開する世界トップ水準の保険・金融グループを創造し、持続的な成長と企業価値向上の実現を目指す。社会・地域の課題解決にお客様とともに取り組むことで、より良い未来を創造する「CSV×DX」戦略として、デジタル・データを活用。

